

Windows11 はどう変わったか

(1) Windows10 と Windows11 の大まかな比較

●YouTube 動画「Windows10 と Windows11 比較」を視聴

* YouTube 動画の内容のサマリーは別紙資料をご参照ください。

(2) Windows11 の新機能・変更点のポイント

●機能の追加・変更

①スナップアシスト

ウィンドウの右上にある「最大化」ボタンにカーソルを合わせると右のようなデスクトップ上のどこにウィンドウを配置させるか選択できる「スナップレイアウト」が表示され、希望の配置箇所をクリックするだけで画面の分割ができ作業が効率化できます。画面の端までドラッグする Windows10 に比べ便利になりました。



(レイアウトのパターンはPCの解析度によって異なるみたいです。)

②仮想デスクトップ

上記「スナップ機能」は同一画面での表示となるので、画面は縮小されます。極大化した画面で複数の作業をしたい場合は、仮想デスクトップの利用が便利です。

タスクバーのタスクビューのアイコン（下図参照）をクリックして、新たなウィンドウを作成していきます。(Windows10 のアイコンとデザインが変わっています。)

Windows11 では背景（壁紙）が仮想デスクトップごとに設定でき、区別ができやすくなっています。



③ウィジェット

「ウィジェット」とはデスクトップ上に天気やニュースなどの情報パネルを表示できる機能です。Windows10 では「関心事とニュース」が画面右下にあります。Windows11 では「ウィジェット」に変わりました。ウィジェットの表示内容は自分好みにカスタマイズできます。また、非表示にすることもできます。

(<設定>→<個人用設定>→<タスクバー>→<ウィジェット>をオフ)

(1)

④アンドロイドアプリの使用可 (Windows11 22H2 以降)

Windows11では2022年8月18日以降アンドロイドのアプリが使えるようになりました。利用に当たっては、Microsoft Storeから「Amazon アプリストアアプリ」をダウンロードしてアプリを取りこむ必要があります。(従って利用にAmazonアカウントが必要です。)

■Windows11でAndroidアプリを使うためのシステム要件

【OS】Windows 11 22H2以降

【CPU】第8世代Core i3またはRyzen 3000、Snapdragon 8c以上のプロセッサ

【メモリ】8GB以上

【Microsoftストア】22206.1401.6以降にアップデート

⑤チャット機能

Windows11でMicrosoft TeamsがOSに統合されたもので、利用にはマイクロソフトアカウントが必要です。タスクバーのアイコンをクリックするとチャットが開始できます。また、ビデオ通話、会議もできます。対象となる相手は基本的にはマイクロソフトアカウントを持ち、Teamsが使用できるようになっている人です。会議については、メールでゲストとして招待すればマイクロソフトアカウントを持っていない人も参加できます。(会議については60分、参加者100名が上限)

⑥クリーンアップ対象候補

「クリーンアップ対象候補」とは、ユーザー自身が作成した”ゴミかもしれない”「不要なファイル、大きなファイルまたは未使用のファイル」、「使われていないアプリ」を対象としてストレージの空き容量を増やすものです。

Windows10, Windows11に搭載されているCドライブの「ディスクのクリーンアップ」は、システム関連で不要となったファイルなど”見えないゴミ”を削除する機能ですので、削除対象が少し違います。

「クリーンアップ対象候補」では、削除するかどうかの判断はあくまでユーザー自身が決める仕様となっています。

<設定>→<システム>→<記憶域>→<記憶域の管理内の「クリーンアップ対象候補」をクリックして、「一時ファイル」、「大きなファイルまたは未使用のファイル」、「クラウドに同期されたファイル」、「使用されていないアプリ」毎に候補を確認し削除するかどうか判断していきます。

⑦クリップボード履歴 (WIN+Vでクリップボードを表示)

Windows11ではWindows10でも使用されている絵文字パネルが統合され、新たに絵文字、記号などの入力クリップボードでできるようになり、顔文字、GIFの動画にも対応しています。また、ウインドの上部の線をドラッグしながら移動することができるようになりました。